

■ Ⅲ. 病院内で活動しているがんに関連した患者会等の当事者活動との関係についておかがいします

〔*なお、「患者会」とは、患者やその家族などの当事者らによって企画・運営している会のことで、医療従事者が主体となって企画・運営している組織は含みません。〕

問 16. 現在、病院内にがんに関連した「患者会」はありますか。

1 ある	2 ない	3 わからない(把握していない)
↓		↳ (次ページ 問 20へお進みください)
付問. 病院内にがんに関連した「患者会」はいくつありますか。 → <input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/>		

問 17. 貴院が、院内の患者会に協力・支援していることについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。(医師・看護師・事務職員などが個人的に協力・支援しているものは含みません)(○はいくつでも)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 勉強会・講演会への講師派遣または派遣の仲介 2 患者会運営のアドバイス、企画考案等の支援 3 定例会等や講演会等の場の提供 4 経済的な援助 5 広報や連絡などの事務的な支援 6 患者同士で話ができる場(しゃべり場・サロン)を提供する 7 その他(具体的に: _____) 8 とくにない 9 わからない |
|--|

問 18. 院内の患者会が、貴院に協力・支援していることについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 院内の医療者向け勉強会・研修会に講師として参加する(体験談を語る等) 2 相談支援センターの運営委員、評価委員などを引き受ける 3 サービス改善アドバイザー(病院探検隊など)を引き受ける 4 がん当事者として、他のがん患者の相談に応じる 5 模擬患者として研修に協力する 6 ボランティアスタッフとして病院運営を支援する 7 がん情報の整理及び情報発信の手伝い(患者向けパンフレット作成の支援や院内図書の整備支援等) 8 都道府県の協議会等にアドバイザーや講師として参加する 9 その他(具体的に: _____) 10 とくにない 11 わからない |
|--|

問 19. 貴相談支援センターとして、院内の患者会との関わりについてどのようにお考えですか。

(1)~(4)のそれぞれの項目について、あてはまる番号に○をつけてください。

	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
(1) 今後、院内の患者会との交流を深めていきたい →	1	2	3	4
(2) 院内の患者会から要請があれば支援・協力するが、相談支援センターから積極的に働きかけることはない →	1	2	3	4
(3) 院内の患者会と交流する必要性を特に感じない →	1	2	3	4
(4) 院内の患者会とどのように交流を持てばよいかわからない →	1	2	3	4

■ IV. 病院内のサポートグループについてうかがいます

【全員の方に】

問 20. 現在、病院内にがんに関連した「サポートグループ」はありますか。

〔「サポートグループ」は患者等への支援を、医療者（医療職等の専門職）が主体となって企画・運営しているグループを指します〕

1 ある	2 ない	3 わからない
↓		→ (問 21へお進みください)
付問. サポートグループの数をお書きください。 → <input style="width: 50px;" type="text"/>		

問 20-1. 院内の「サポートグループ」の運営状況についておうかがいします。

複数ある場合は、最も活動的なサポートグループについてご記入ください。

<サポートグループAについて>

(1) 対象となる参加者の疾病名または属性 → (_____)	
(2) 活動の頻度 → 1年あたり 約 <input style="width: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px;" type="text"/> 回	
(3) 活動の参加者数 (患者・医療者あわせ人数) → 1回あたり 約 <input style="width: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px;" type="text"/> 人	
(4) サポートグループの活動の主導的立場にある人または組織 (○は1つ)	
1 医師	3 看護師 (病棟・外来)
2 相談支援センターの専門職	4 その他 (_____)
(5) 相談支援センターは、サポートグループの運営にどのように関わっていますか。 関わっている事項すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)	
1 グループを開催する場所の確保	5 物品・資金の調達および会計
2 グループの企画・運営	6 その他
3 広報活動 (院内への掲示や web への掲載など)	(具体的に: _____)
4 参加者の募集・声かけ	7 とくに関わっていない

■ V. 医療機関における、がん当事者の活動についてのお考えをうかがいます

【全員の方に】

問 21. 相談支援センターとして、がん当事者との活動で今後取り組んでみたいと思う内容、

または協力を依頼したいと思う内容すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 地域の患者会との交流や連携を深める
2 院内にすでにある患者会と交流や連携を深める
3 院内に新たな患者会を立ち上げる
4 患者同士で話ができる場 (しゃべり場・サロン) を設置する
5 院内にすでにあるサポートグループのプログラムを充実させる
6 院内に新たなサポートグループを立ち上げる
7 相談支援センターのアドバイザー (運営協議会のメンバーなど) を依頼する
8 病院サービス改善アドバイザー (病院探検隊など) を依頼する
9 院内の講演会・勉強会の講師を依頼する
10 がん当事者が、他のがん患者の相談に応じる仕組みを作る
11 模擬患者として研修に協力するよう依頼する
12 病院運営を支援するボランティアを依頼する
13 がん情報の整理及び情報発信の手伝い (患者向けパンフレット作成の支援や院内図書の整備支援等) を依頼する
14 治験・臨床研究への助言や組織的な参加を依頼する
15 その他 (具体的に: _____)
16 とくにない

問 22. 患者会やサポートグループなど、がん患者やその家族との活動についておうかがいします。
次の(1)～(9)について、あなたご自身のお考えにあてはまる番号に○をつけてください。

	非常に そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
(1) 患者会やサポートグループなどの活動を通じて、患者・家族と、医療者の相互理解が深まる →	1	2	3	4	5
(2) 医療関係者だけでは提供できない当事者ならではの患者や家族の支援につながる →	1	2	3	4	5
(3) 日常業務が忙しくて、活動の時間がない →	1	2	3	4	5
(4) 患者や家族の人たちと、会やグループの中でうまく関わりをもてる自信がない →	1	2	3	4	5
(5) 活動を支援するための知識や技術が不足している →	1	2	3	4	5
(6) 地域の患者会の活動内容について、情報をどのように得たらよいかわからない →	1	2	3	4	5
(7) 活動について、他の専門職の理解を得るのが難しい →	1	2	3	4	5
(8) 活動について、管理職の理解を得るのが難しい →	1	2	3	4	5
(9) 地域の患者会では、標準的でない治療や危険をはらんだ民間療法等の情報が広がりやすいという懸念が院内にある →	1	2	3	4	5

問 23. 院内の患者会、サポートグループの運営において困っていること、逆に、円滑な運営に必要な配慮や工夫など他の相談支援センターへのアドバイスがあれば、お書きください。

問 24. 相談支援センターとして、患者や家族の力をがん医療に活かそうとしていることはありますか。患者や家族と連携することの意義、あるいは懸念について、日頃お感じになっていること、職場で話題になっていることがあれば、具体的にお書きください。

問 25. がん診療拠点病院相談支援センター相談員のための基礎研修3についておうかがいします。
「基礎研修3」は既に受講しましたか。

1 はい	2 いいえ	
↓	→ (次ページ 問 26 へお進みください)	
付問. 基礎研修3の二日目の「新たな支援プログラム」をテーマにしたセッションは、あなたの実践や活動を考える際の役立ちましたか。		
1 かなり 役立った	2 少し 役立った	3 どちらとも 言えない
4 あまり 役立たなかった	5 全く 役立たなかった	

ご協力ありがとうございました
同封の封筒に入れ、2月12日(金)までにご投函いただきますようお願い申し上げます

(資料16)

平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (がん臨床研究事業)
相談支援センターの機能の強化・充実と地域における
相談支援センターのあり方に関する研究
(研究代表者：高山 智子)

分担研究報告書

当事者団体との協働を視野に置いた「新たな支援プログラム」の構築に関する
効果的な研修方法の検討

分担研究者 大松重宏 城西国際大学 福祉総合学部 准教授

研究要旨：平成 20 年度より全国のがん診療連携拠点病院相談支援センターの相談員を対象に、当事者団体との協働やそのための前段階としての新たなサポートシステムの構築をテーマとした基礎研修を開催してきた。地域性や病院の特性等が異なる参加者が限られた時間のグループワークでより高い学習効果を得るためにはどのような点を改善すべきか、エキスパート相談員を対象にワークショップを開催し、対策を検討した。

A. 研究目的

平成 20 年度より開始したがん専門相談員対象の“基礎研修 3”では、がん体験者との協働を軸に新たな支援プログラムの構築に焦点を絞ったグループワーク形式での学習を取り入れている。しかし、個別支援を主要業務とする多くの相談員にとって、グループワークやワークの中で用いるソーシャルアクション、コミュニティワーク等の概念や業務運営管理は未経験の分野であり、本研修の学習効果を十分にあげることが困難な点が終了後のアンケート等から指摘されていた。

そこで本研究では、エキスパートの相談員を対象に研修プログラムの理解を深め、“基礎研修 3”をより効果的に進めるための工夫や改善点を、主催者側と参加者の双

方が得ることを目的とした。

B. 研究方法

① 講義やワークに関して当日使用する資料を参加予定者に事前に送付し、自己学習を依頼した。

当日参加者は、6～7 人から成る 6 つのグループに分かれ、3 つのワークを 2 グループずつが分担した。サポートグループおよびセルフヘルプグループに関する講義の後、既にサポートグループの企画・運営に取り組んでいる医療機関が実践報告を行った。

各グループで選択したワークについて議論を深め、結果を各グループでパワーポイントに作成し発表した。

研修終了後、参加者は主催者側の作成したアンケートに回答した。アンケートには本

ワークショップに関する意見等自由記載欄を設け、その回答を基に研修運営について検討した

(倫理面への配慮)

アンケートへの記入は、無記名とした。

C. 研究結果

参加者 39 名の構成は看護職が 46.2%、福祉職が 48.7%であった。所属機関は 71.1%が大学病院を含む一般病院で、がん専門病院は 23.7%であった。

a) プログラム運営方法について

ワークショップ開催前に参加者に資料をメールにて送付し研修の目的を明確にしたが、37.8%の参加者が「効果があった」と回答し、「少し効果があった」と回答した 56.8%と併せると、約 95%の参加者が事前学習の効果を認めた。

また、ワークについて議論した結果をパワーポイントに作成する作業に関しては、「グループワークの成果が形に残る」と肯定的に評価する意見が複数みられた。

b) ファシリテーターについて

「ファシリテーターとして“基礎研修3”に協力できるか」という問いに対して、51.4%の参加者から「協力できる」という回答が得られた。「どちらとも言えない」および「協力できない」と回答した参加者からは、「業務が多忙で病院側の協力が得られにくい」「自分のスキルに自信がない」等の意見が出された。ファシリテーターとしての介入のポイント等を学ぶ機会を作ってほしいと

いう意見もあった。

c) ワークの背景設定について

ワークについて議論する以前に、登場人物や場面設定をメンバー内で共有することに時間を要するグループが多くあり、「もっと詳しく背景設定をしてほしい」という意見があった。ワークの進め方の指針として長期目標を視野に入れることを示したが、そこまでは至らず、プログラムの立ち上げ段階に終始してしまうグループも多くみられた。

D. 考察

主催者側としては、研修という限られた時間内に、参加者の所属する機関の特性や地域性の違いを配慮しながらも、一定の成果を挙げることを目標にしていた。しかし、今回のワークショップに参加したエキスパート相談員ですら、ワークに登場する当事者の当座のニーズや予想される障壁等、枝葉末節にとらわれるあまり、短期目標を設定するのみで話し合いの時間が終了してしまう場面が随所にみられた。当事者と専門職の協働プログラムの構築という目標を達成するためには、ワークを始める前に、ファシリテーターはその場において異なる地域、特性の異なる所属機関における課題等をメンバー間で情報交換した後に、研修目的が普遍的な地域や院内のシステム作りを協議する場であることを共通認識させることが必要である。また、各メンバーが日常の相談業務の中でピア・サポートの有効性について経験的に認識してい

るかを確認することも重要である。認識がないメンバーに関しては、他のメンバーとの相互作用の中で気づきとしてピア・サポートの有効性を確認できるようなファシリテートが必要であろう。

研修の効果を上げるための方策の一つとして、ファシリテーターを対象とした研修を実施し、グループへの介入のポイント等を学習する場を設けることも、主催者側は検討すべきであろう。

E. 結論

全国のがん診療連携拠点病院の指導的な立場にあるがん専門相談員を対象にワークシ

ョップを実施し、「新たな支援プログラム」の構築をテーマとした研修を効果的に実施するポイントを抽出した。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

大松重宏 「がん診療連携拠点病院において相談支援センターはどのような役割を担っているか」緩和ケア 20(1)32-35 2010-01

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

(資料17)

H23 年度厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）
相談支援センターの機能の強化・充実と地域における
相談支援センターのあり方に関する研究
（研究代表者：高山 智子）

分担研究報告書

相談支援センターと患者会の連携協力体制に関する現状と今後の体制作りに関する検討

研究分担者

田尾 絵里子 国立がん研究センター がん対策情報センター 研究員
八巻 知香子 国立がん研究センター がん対策情報センター 研究員
高山 智子 国立がん研究センター がん対策情報センター 室長

研究要旨：全国のがん関連の患者会の実態把握を、公開情報を元に作成したリスト 395 団体について電話による事前調査と質問紙調査を実施した。事前調査で連絡不通または住所不明であった患者会は、66 団体（16.7%）にのぼり、体制の不安定な患者会情報の実態が示された。調査協力の得られた 329 団体の受付対応状況は、週 7 日（51%）、24 時間（32%）のところもかなりの割合で存在した。相談支援センターを「知っている」患者会は 131 団体（81.4%）、「利用したことがある」は 56 団体（34.6%）にのぼり、一般市民に比べ高い割合で認知や利用が進んでいることが示された。また、相談支援センターにおける患者会情報の活用の可否については、「情報を利用してよい」は 142 団体（90%）である一方、「利用してほしくない」、「事前に確認してほしい」なども 15 団体（10%）見られ、情報活用や連携の際の配慮の必要性が示された。

A. 研究目的

相談支援センターによって提供が期待される情報の一つとして、「がんの患者会」があげられる。患者会の実態把握そのものが困難な段階で、相談支援センターと患者会との連携のあり方についての模索が続いており、建設的な検討を進めるためにも患者会の基礎的な情報の収集と全体像の把握が求められている。本研究では、1) 全国の患者会の活動状況および相談支援センターの利用状況の把握、2) 相談支援センター

における患者会との連携状況の把握を目的とした。

B. 研究方法

一般公開されている患者会および患者支援団体の情報をもとに、がんに関する患者会のリストを作成した。その際に、公開情報から判断できる範囲で、営利を目的としないこと、特定の治療や代替医療について、推奨していないことをリスト作成の除外条件とした。リスト上の患者会 395 団

体に対し、電話（メール・FAXを含む）による事前調査の後、質問紙調査への協力に対し承諾を得られた患者会、および、電話連絡は不通だが住所が公開されている患者会に対し、郵送による質問紙調査を実施した。事前調査では、①連絡先と連絡がつながるか、②団体名、住所、連絡先、代表者名、運営時間の確認、③質問紙調査への協力依頼について質問した。質問紙調査では、①がん診療連携拠点病院および相談支援センターの認知、利用状況、②相談支援センターとの連携協力に対する意向について質問した。

また、相談支援センターにおける患者会との連携状況の把握は、がん診療連携拠点病院のH21年度およびH22年度現況報告を分析した。

C. 研究結果

今回事前調査を行った患者会 395 団体のうち、質問紙調査への協力承諾を得られた患者会は 204 団体（51.6%）であった。連絡は通じたが調査協力を拒否した患者会は 10 団体（2.5%）、活動休止が 2 団体（0.5%）、閉鎖が 12 団体（3%）、連絡先が現在使用されていない患者会が 18 団体（4.6%）、連絡不可かつ住所不明の患者会が 24 団体（6%）であった。（表 1）

調査協力の承諾を得られた患者会、および、連絡不通だが住所が公開されている患者会、329 団体へ質問紙を発送した。回答数は 167 団体、回収率は 50.7%であった。患者会の受付対応状況は、週 7 日（51%）、週 5 日（33%）であり、1 日 8 時間（35%）、1 日 24 時間（32%）であった。

1) がん診療連携拠点病院および相談支援センターの認知および利用状況について

質問紙調査の回答を得られた 167 団体において、がん診療連携拠点病院を「知っている」と回答した者は、144 団体（87.8%）であった。「知らない」と回答した者は、20 団体（12.2%）であった。

がん診療連携拠点病院の利用状況は、「利用したことがある」が 96 団体（58.9%）、「利用したことがない」は 67 団体（41.1%）であった。利用したことがある理由としては、「知事の推薦、厚労省の認可があり、がんの診療体制や医師の研修体制、情報提供などが整備されており、専門医や看護師などもいて、安心して治療が受けられる。」「家のすぐ近くにあるから。」などが挙げられ、利用したことがない理由としては、「術後 15 年以上たっているため現在必要としていない。」「自分はがんを発症していないため。」「相談したが情報が得られなかった。」「近くにないため。」「自分のがん種の専門医が拠点病院にいなかったため。」などが挙げられた。

地域のがん診療連携拠点病院を周囲の人に紹介したことがあるかどうかについては、「紹介したことがある」は 95 団体（59.7%）、「紹介したことがない」は 64 団体（40.3%）であった。紹介した理由としては、「セカンドオピニオンとして紹介した。」「緩和ケア施設を紹介した。」「様々な相談窓口があることのひとつとして紹介した。」「がんの診断治療を受けるのに信頼できるから。」「安心して紹介できる。」「拠点病院に入院中の患者さんから相談があったため相談支援センターで相談することをすすめた。」などが

挙げられ、紹介したことがない理由としては、「自分の選んだ病院で、通院できる範囲内で治療を受けているという事が一番の理由。(肺がん)」「それぞれが自分の主治医を信頼されているため。(乳がん)」「小児がんであることと、がんセンターも関連施設なので、直接医師などに相談している。」「当団体は小児がんを扱っている為、大人の拠点病院とは相違がある事がある為。」「特に相談することがない、必要性をかんじない。」「まわりに既に知っている方が多いため。」などが挙げられた。

がん相談支援センターの認知度については、「知っている」が131団体(81.4%)、「知らない」が30団体(18.6%)であった。また、利用状況については、「利用したことがある」は56団体(34.6%)、「利用したことがない」は106団体(65.4%)であった。利用したことがない理由としては、「相談の必要性を感じなかった(例：自分で調べるから、14年前に手術をしたから今は必要ない、など。)」。「医療の相談は主治医にするから。」「相談支援センターに相談した患者が、患者会に相談してくるケースが多い。少し患者のニーズと相談回答がずれている気がする。」「自分の病気に対して利用したことはないが患者会やがんサロンにおいては利用を勧めている。」「現在はそのサービスを必要としていないが、その状況になれば、積極的に利用するつもり。」などが挙げられた。

2) 相談支援センターおよび患者会の連携協力体制について

地域の相談支援センターと患者会の交流の有無については、「しばしば交流がある」が37団体(23%)、「たまに交流がある」が

55団体(35%)、「まったく交流がない」が67団体(42%)であった。「まったく交流がない」と回答した患者会の相談支援センターとの交流意向については、「今後交流を深めていきたい」20.9%、「要請があれば支援・協力する」が31.3%、「どのように交流をもてばよいか分からない」が16.4%、「交流する必要性を特に感じない」が11.9%であった。患者会全体としては、44.4%が「今後交流を深めていきたい」と回答した。

一方、相談支援センターにおける患者会の対応数は、平成21年度現況報告では、1施設平均1.1団体であり、373施設中152施設では患者会の対応をおこなっていなかったが、平成22年度現況報告では、1施設平均2.2団体と増加し、患者会の対応をおこなっていない施設は388施設中2施設と大幅に減少した(図1)。また、地域の患者会に関する情報を提供している施設は325施設(84%)、情報提供していない施設は60施設(15%)、無回答が3施設(1%)であり、情報提供が可能な地域の患者会数は、平均6.5団体、中央値3団体であった(平成22年度現況報告より)。

3) 患者会情報の活用について

本質問紙調査で得られた患者会情報を相談支援センターにおいて相談の際に活用することについては、「情報を利用してよい」が142団体(90.4%)、「情報を利用してほしくない」が1団体(0.6%)、「その他」が14団体(8.9%)であった。「その他」の具体的な回答としては、「事前に連絡がほしい。情報公開はよいが、回答した内容では会のイメージが伝わらないため、内容を確認させてほしい」「電話・FAXは個人の電話番号の

ため非公開。住所・HP・E-mailは公開可。」
「どのように何を活用するのか具体的に示
していただいた上で検討する。」であった。

D. 考察

公開情報の連絡先が不通となっていた患者会
は全体の16%であり、患者会の活動実態は時と
ともに変わることが多く、患者会情報の把握が
困難であることが示唆された。相談支援センター
が患者団体等と連携していくには、まず、患者会
について把握できる継続的な情報更新システムの
構築が重要である。一方、患者会で24時間対
応している実態が多く見られたことは、患者会
の規模からも、体制としてよりも個人として対
応していることが多いと考えられ、今後相談支
援センターと連携していく場合には、事前に各
患者会の対応可能範囲の把握と調整がさらに
必要であると考えられる。

がん診療連携拠点病院および相談支援セン
ターの認知度においては、いずれも8割以上が
知っていると回答しており、一般市民と比較し、
高い割合で認知が進んでいることが示唆され
た。利用状況においては、回答者本人は必要と
してないため拠点病院や相談支援センターを利
用していないが、患者会での情報提供の際に、
セカンドオピニオンとしてや専門的な相談窓口
として紹介しているとの意見が複数得られた。ま
た、拠点病院が近くにないため利用していない
との意見もあり、拠点病院が近隣にない患者
家族への情報提供および相談支援のあり方につ
いても今後検討が必要である。

相談支援センターと患者会の連携状況にお
いては、既に交流があると回答した患者会は約
5割であった。交流がない団体にお

いても、約7割が交流に対して前向きな意見
であり、患者会の多くが相談支援センターと何
かしらの形で交流をもち、連携協力体制を築く
ことを望んでいることが明らかとなった。連携
のあり方は患者会の規模や活動内容により異
なるため、患者会の意向を個別に把握する必
要があると考えられる。

一方で、相談支援センターにおいては、各地
域の患者会の把握を十分に行えているとはい
えないが、患者会対応をおこなっている施設は
経年ごとに増加し、地域の患者会を情報提供
している施設も8割を超えており、患者会へ
の関心が高まっていることが示唆された。

E. 結論

がん対策推進基本計画およびがん診療連
携拠点病院の整備に関する指針において、相
談支援センターの業務に「患者団体等との連
携を検討すること」が示されており、連携を
検討する際には、患者会の実態把握が必須
である。本研究において、患者会167団体の
活動概要および相談支援センターとの連携協
力体制に関する意識について明確になり、患
者会の活動実態の基礎情報を把握することが
できたと考えられる。相談支援センターと患
者会との連携はまだ十分ではなく、今後、更
なる患者会情報の整備と共に、双方の連携
に対する意識合わせが重要と考えられる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

日-29日、名古屋

2. 学会発表

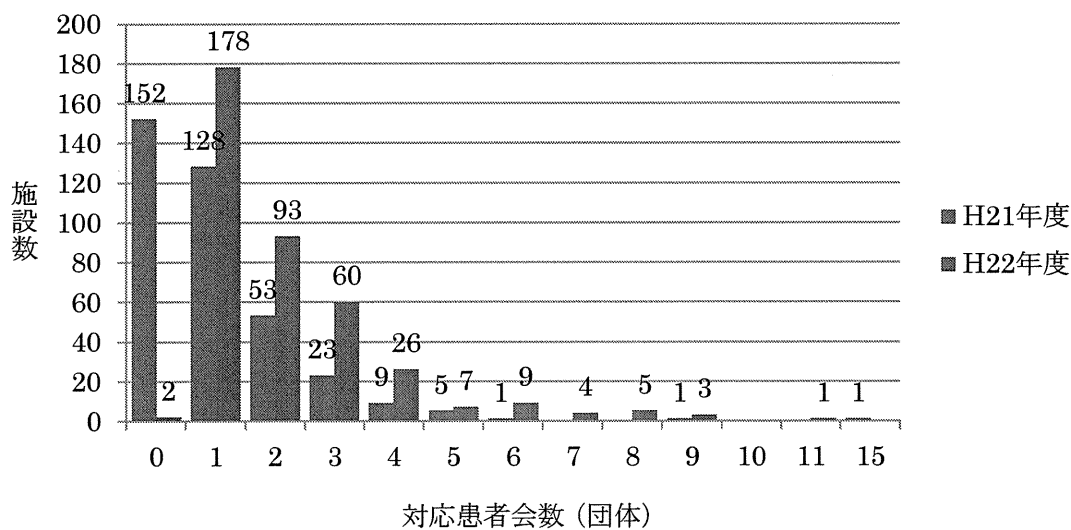
1. 田尾絵里子, 高山智子, 八巻知香子.
患者会の活動実態と相談支援センターとの
連携協力体制に関する意識調査. 第49回
日本癌治療学会学術集会. 2011年10月27

H. 知的財産権の出願・登録状況
なし

【表1】患者会の対応状況—事前電話調査—

公開連絡先の対応状況	件数	
連絡可（調査協力承諾）	204	質問紙調査対象
返信待ち（メール、FAXへ連絡）	125	
連絡可（調査協力拒否）	10	66
連絡可（活動休止）	2	
連絡不可（閉鎖）	12	
連絡不可（現在使われていない）	18	
連絡不可（住所不明）	24	
合計	395	

【図1】相談支援センターより報告された連携している患者会数
H21年度現況報告（373施設）、H22年度現況報告（388施設）より



患者会活動調査 集計表

作成日：2011年7月13日

設 問	選 択 肢	全 体		会 員 数													
		度数	構成比	1~50人	51~100人	101~150人	151~200人	201~1000人	1001人以上	無回答	1~50人	51~100人	101~150人	151~200人	201~1000人	1001人以上	無回答
		167		33	29	21	16	28	8	32							
1. 貴団体についてお伺いします。																	
調査対象：都道府県																	
	01 北海道	3	1.8	0	2	1	0	0	0	0	0.0	6.9	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	02 青森県	1	0.6	0	0	0	0	1	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0
	03 岩手県	3	1.8	0	1	1	0	1	0	0	0.0	3.4	4.8	0.0	3.6	0.0	0.0
	04 宮城県	1	0.6	0	1	0	0	0	0	0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	05 秋田県	2	1.2	1	0	0	1	0	0	0	3.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
	07 福島県	2	1.2	1	0	0	1	0	0	0	3.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
	08 茨城県	4	2.4	1	1	1	0	0	1	0	3.0	3.4	4.8	0.0	0.0	12.5	0.0
	09 栃木県	3	1.8	1	1	1	0	0	0	0	3.0	3.4	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	10 群馬県	5	3.0	2	1	1	0	1	0	0	6.1	3.4	4.8	0.0	3.6	0.0	0.0
	11 埼玉県	1	0.6	0	0	0	1	0	0	0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
	12 千葉県	5	3.0	0	1	2	1	1	0	0	0.0	3.4	9.5	6.3	3.6	0.0	0.0
	13 東京都	19	11.4	2	0	1	2	2	6	6	6.1	0.0	4.8	12.5	7.1	75.0	18.8
	14 神奈川県	8	4.8	1	1	1	0	3	0	2	3.0	3.4	4.8	0.0	10.7	0.0	6.3
	15 新潟県	2	1.2	0	0	0	0	1	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	3.1
	16 富山県	2	1.2	1	1	0	0	0	0	0	3.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	17 石川県	2	1.2	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	3.1
	18 福井県	3	1.8	1	2	0	0	0	0	0	3.0	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	19 山梨県	2	1.2	1	1	0	0	0	0	0	3.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20 長野県	4	2.4	1	2	1	0	0	0	0	3.0	6.9	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	21 岐阜県	3	1.8	0	0	1	1	0	0	1	0.0	0.0	4.8	6.3	0.0	0.0	3.1
	22 静岡県	2	1.2	0	1	0	1	0	0	0	0.0	3.4	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
	23 愛知県	3	1.8	1	0	0	0	2	0	0	3.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
	25 滋賀県	2	1.2	1	0	1	0	0	0	0	3.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	26 京都府	3	1.8	0	0	0	0	2	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	3.1
	27 大阪府	10	6.0	0	2	1	0	6	0	1	0.0	6.9	4.8	0.0	21.4	0.0	3.1
	28 兵庫県	1	0.6	0	0	1	0	0	0	0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	29 奈良県	2	1.2	0	1	0	0	1	0	0	0.0	3.4	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0
	33 岡山県	7	4.2	3	1	0	2	1	0	0	9.1	3.4	0.0	12.5	3.6	0.0	0.0
	34 広島県	7	4.2	1	1	1	1	2	0	1	3.0	3.4	4.8	6.3	7.1	0.0	3.1
	35 山口県	3	1.8	0	0	0	1	1	0	1	0.0	0.0	0.0	6.3	3.6	0.0	3.1
	36 徳島県	2	1.2	0	1	1	0	0	0	0	0.0	3.4	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	37 香川県	4	2.4	0	3	0	0	0	0	1	0.0	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
	38 愛媛県	1	0.6	0	0	0	1	0	0	0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
	39 高知県	2	1.2	0	1	0	0	0	0	1	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
	40 福岡県	21	12.6	6	1	1	2	2	0	9	18.2	3.4	4.8	12.5	7.1	0.0	28.1
	41 佐賀県	3	1.8	2	1	0	0	0	0	0	6.1	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	42 長崎県	2	1.2	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	3.1
	43 熊本県	2	1.2	2	0	0	0	0	0	0	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	44 大分県	4	2.4	2	0	1	1	0	0	0	6.1	0.0	4.8	6.3	0.0	0.0	0.0
	45 宮崎県	4	2.4	2	0	0	0	0	1	1	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	3.1
	46 鹿児島県	5	3.0	0	1	1	0	1	0	2	0.0	3.4	4.8	0.0	3.6	0.0	6.3
	47 沖縄県	2	1.2	0	0	0	0	0	0	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
【問1】貴団体の名称等についてご記入ください。																	
⑧受付対応時間[曜日]																	
	月火水木金土日	50	40.0	8	11	7	9	8	1	6	38.1	52.4	43.8	64.3	34.8	14.3	26.1
	月火水木金土日(FAX対応含)	1	0.8	1	0	0	0	0	0	0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	火水木金土日	1	0.8	0	1	0	0	0	0	0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	月火水木金土	8	6.4	4	2	1	0	0	1	19.0	9.5	6.3	0.0	0.0	0.0	4.3	
	月火水木金	39	31.2	4	5	5	1	6	6	12	19.0	23.8	31.3	7.1	26.1	85.7	52.2
	月火水木金(祭日除く)	1	0.8	1	0	0	0	0	0	0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	月火水木	1	0.8	0	0	0	1	0	0	0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
	月火水金	2	1.6	0	0	0	1	1	0	0	0.0	0.0	0.0	7.1	4.3	0.0	0.0
	月水金	4	3.2	0	0	0	0	3	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	4.3
	月木土	1	0.8	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
	火木	1	0.8	0	1	0	0	0	0	0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	火金	2	1.6	0	1	0	0	0	1	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
	火土	1	0.8	0	0	0	0	1	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0
	木金(祝日除く)	1	0.8	1	0	0	0	0	0	0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	月	1	0.8	0	0	1	0	0	0	0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	水	2	1.6	0	0	0	0	2	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0
	木	2	1.6	0	0	0	1	0	0	1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	4.3
	金	2	1.6	1	0	0	0	1	0	0	4.8	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0
	土	2	1.6	0	0	1	1	0	0	0	0.0	0.0	6.3	7.1	0.0	0.0	0.0
	日	1	0.8	0	0	0	0	1	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0
	電話対応なし	1	0.8	1	0	0	0	0	0	0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不定期	1	0.8	0	0	1	0	0	0	0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	42		12	8	5	2	5	1	9							
⑨受付対応時間[曜日:日数]																	
	7日	51	41.5	9	11	7	9	8	1	6	45.0	52.4	46.7	64.3	34.8	14.3	26.1
	6日	9	7.3	4	3	1	0	0	0	1	20.0	14.3	6.7	0.0	0.0	0.0	4.3
	5日	40	32.5	5	5	5	1	6	6	12	25.0	23.8	33.3	7.1	26.1	85.7	52.2
	4日	3	2.4	0	0	0	2	1	0	0	0.0	0.0	0.0	14.3	4.3	0.0	0.0
	3日	5	4.1	0	0	0	0	3	0	2	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	8.7
	2日	5	4.1	1	2	0	0	1	0	1	5.0	9.5	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3
	1日	10	8.1	1	0	2	2	4	0	1	5.0	0.0	13.3	14.3	17.4	0.0	4.3
	無回答	44		13	8	6	2	5	1	9							

患者会活動調査 集計表

作成日：2011年7月13日

設問	選択肢	全体		会員数														
		度数	構成比	1~50人	51~100人	101~150人	151~200人	201~1000人	1001人以上	無回答	1~50人	51~100人	101~150人	151~200人	201~1000人	1001人以上	無回答	
		167		33	29	21	16	28	8	32								
⑥受付対応時間[曜日別] (複数回答) ※回答患者会数:123件	月曜日	108	87.8	18	18	14	12	18	7	21	90.0	85.7	93.3	85.7	78.3	100.0	91.3	
	火曜日	107	87.0	18	21	13	12	16	7	20	90.0	100.0	86.7	85.7	69.6	100.0	87.0	
	水曜日	107	87.0	18	19	13	11	19	7	20	90.0	90.5	86.7	78.6	82.6	100.0	87.0	
	木曜日	108	87.8	19	20	13	13	15	7	21	95.0	95.2	86.7	92.9	65.2	100.0	91.3	
	金曜日	111	90.2	20	20	13	11	19	7	21	100.0	95.2	86.7	78.6	82.6	100.0	91.3	
	土曜日	64	52.0	13	14	9	10	9	1	8	65.0	66.7	60.0	71.4	39.1	14.3	34.8	
	日曜日	53	43.1	9	12	7	9	9	1	6	45.0	57.1	46.7	64.3	39.1	14.3	26.1	
⑥受付対応時間[開始時間]	00:00	39	30.5	7	10	6	7	6	1	2	31.8	45.5	40.0	50.0	25.0	12.5	8.7	
	06:00	1	0.8	0	0	1	0	0	0	0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	08:00	2	1.6	0	0	1	0	1	0	0	0.0	0.0	6.7	0.0	4.2	0.0	0.0	
	08:30	10	7.8	3	2	1	0	0	0	4	13.6	9.1	6.7	0.0	0.0	0.0	17.4	
	08:40	1	0.8	0	0	0	1	0	0	0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	
	08:45	1	0.8	0	0	0	0	0	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	
	09:00	30	23.4	6	4	2	3	4	3	8	27.3	18.2	13.3	21.4	16.7	37.5	34.8	
	09:00/09:00	1	0.8	1	0	0	0	0	0	0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	09:30	2	1.6	1	0	0	0	1	0	0	4.5	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	
	10:00	20	15.6	1	4	2	1	5	2	5	4.5	18.2	13.3	7.1	20.8	25.0	21.7	
	10:30	2	1.6	0	0	0	0	0	1	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	4.3	
	11:00	4	3.1	0	0	0	1	3	0	0	0.0	0.0	0.0	7.1	12.5	0.0	0.0	
	13:00	5	3.9	1	0	1	0	2	0	1	4.5	0.0	6.7	0.0	8.3	0.0	4.3	
	14:00	1	0.8	0	0	0	0	1	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	
	17:30	1	0.8	0	0	0	0	0	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	
	18:00	1	0.8	0	0	0	0	1	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	
	18:00/09:00	1	0.8	1	0	0	0	0	0	0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	19:00	3	2.3	1	1	0	0	0	0	1	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	
	20:00	2	1.6	0	0	1	1	0	0	0	0.0	0.0	6.7	7.1	0.0	0.0	0.0	
	20:00以降	1	0.8	0	1	0	0	0	0	0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無回答	39		11	7	6	2	4	0	9								
	⑥受付対応時間[終了時間]	10:00	1	0.8	0	0	0	0	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	
		12:00	1	0.8	0	0	0	0	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	
		14:00	1	0.8	0	0	0	0	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	
		14:30	1	0.8	1	0	0	0	0	0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		15:00	6	4.8	1	0	3	0	1	0	1	4.5	0.0	20.0	0.0	4.2	0.0	4.3
		15:15	1	0.8	0	0	0	0	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	
		16:00	15	12.0	1	2	0	0	6	3	3	4.5	9.5	0.0	0.0	25.0	37.5	13.0
		16:30	2	1.6	1	0	1	0	0	0	0	4.5	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
17:00		28	22.4	1	7	1	3	5	1	10	4.5	33.3	6.7	25.0	20.8	12.5	43.5	
17:00/12:00		1	0.8	1	0	0	0	0	0	0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
17:15		2	1.6	2	0	0	0	0	0	0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
17:30		2	1.6	0	0	0	0	1	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	12.5	0.0	
18:00		9	7.2	3	1	1	0	1	1	2	13.6	4.8	6.7	0.0	4.2	12.5	8.7	
18:45		1	0.8	0	0	0	0	1	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	
19:00		2	1.6	0	0	1	0	0	1	0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	12.5	0.0	
20:00		3	2.4	1	0	0	0	1	0	1	4.5	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	4.3	
21:00		7	5.6	2	1	1	2	0	0	1	9.1	4.8	6.7	16.7	0.0	0.0	4.3	
21:00/17:00		1	0.8	1	0	0	0	0	0	0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
22:00		2	1.6	0	0	1	0	0	0	1	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	4.3	
24:00		39	31.2	7	10	6	7	6	1	2	31.8	47.6	40.0	58.3	25.0	12.5	8.7	
無回答		42		11	8	6	4	4	0	9								
⑥受付対応時間[対応時間] ※受付開始から終了までの時間		1. 2時間以下	9	7.2	2	1	2	0	2	1	1	9.1	4.8	13.3	0.0	8.3	12.5	4.3
		2. 4時間以下	5	4.0	0	0	0	0	4	0	1	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	4.3
		3. 8時間以下	44	35.2	5	7	4	3	10	4	11	22.7	33.3	26.7	25.0	41.7	50.0	47.8
		4. 10時間以下	19	15.2	6	3	1	0	2	2	5	27.3	14.3	6.7	0.0	8.3	25.0	21.7
		5. 20時間以下	8	6.4	2	0	2	2	0	0	2	9.1	0.0	13.3	16.7	0.0	0.0	8.7
	6. 24時間	40	32.0	7	10	6	7	6	1	3	31.8	47.6	40.0	58.3	25.0	12.5	13.0	
無回答	42		11	8	6	4	4	0	9									
[問2]貴団体の概要についてご記入ください。当てはまるものに○をお付けください。																		
②会員数	1. 会員制	141	86.5	33	29	21	16	28	7	7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	87.5	25.0	
	2. 非会員制	22	13.5	0	0	0	0	0	1	21	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	75.0	
	無回答	4		0	0	0	0	0	0	4								
	会員制(人数)	1. 1人~50人	33	24.4	33	0	0	0	0	0	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		2. 51人~100人	29	21.5	0	29	0	0	0	0	0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		3. 101人~150人	21	15.6	0	0	21	0	0	0	0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		4. 151人~200人	16	11.9	0	0	0	16	0	0	0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
5. 201人~1000人		28	20.7	0	0	0	0	28	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
6. 1001人以上		8	5.9	0	0	0	0	0	8	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
無回答	32		0	0	0	0	0	0	32									
③設立年	1. 1989年以前	7	4.4	1	0	0	2	2	1	1	3.2	0.0	0.0	12.5	7.7	12.5	3.3	
	2. 1970年代	18	11.3	3	5	3	3	2	1	1	9.7	17.9	14.3	18.8	7.7	12.5	3.3	
	3. 1980年代	26	16.3	3	3	9	2	4	1	4	9.7	10.7	42.9	12.5	15.4	12.5	13.3	
	4. 1990年代	30	18.8	5	5	7	3	6	2	2	16.1	17.9	33.3	18.8	23.1	25.0	6.7	
	5. 2000年代	79	49.4	19	15	2	6	12	3	22	61.3	53.6	9.5	37.5	46.2	37.5	73.3	
	無回答・無効回答	7		2	1	0	0	2	0	2								
⑤団体への参加資格	1. 患者	152	91.0	30	26	20	15	25	8	28	90.9	89.7	95.2	93.8	89.3	100.0	87.5	
	2. 家族	121	72.5	21	22	17	11	20	6	24	63.6	75.9	81.0	68.8	71.4	75.0	75.0	
	3. 医療従事者	103	61.7	19	19	14	8	18	5	20	57.6	65.5	66.7	50.0	64.3	62.5	62.5	
	4. 一般	73	43.7	12	11	10	7	14	5	14	36.4	37.9	47.6	43.8	50.0	62.5	43.8	
	5. その他	46	27.5	8	8	8	5	9	1	7	24.2	27.6	38.1	31.3	32.1	12.5	21.9	

患者会活動調査 集計表

作成日：2011年7月13日

設 問	選 択 肢	全 体		会 員 数														
		度数	構成比	1~50人	51~100人	101~150人	151~200人	201~1000人	1001人以上	無回答	1~50人	51~100人	101~150人	151~200人	201~1000人	1001人以上	無回答	
⑥対象とするがんの種類/限定事項など	1. がん全般	47	28.8	5	10	5	7	7	2	11	15.2	35.7	23.8	43.8	25.9	25.0	36.7	
	2. 特定のがん種(がん種名:)	100	61.3	26	15	13	9	18	5	14	78.8	53.6	61.9	56.3	66.7	62.5	46.7	
	3. その他()	16	9.8	2	3	3	0	2	1	5	6.1	10.7	14.3	0.0	7.4	12.5	16.7	
	無回答	4		0	1	0	0	1	0	2								
⑦活動地域	1. 全国	45	27.4	4	5	2	9	10	6	9	12.5	17.2	9.5	56.3	35.7	75.0	30.0	
	2. 特定の地域	119	72.6	28	24	19	7	18	2	21	87.5	82.8	90.5	43.8	64.3	25.0	70.0	
	無回答	3		1	0	0	0	0	0	2								
⑧支部会の有無	1. あり	28	17.5	2	3	2	7	8	3	3	6.1	11.1	10.5	43.8	29.6	37.5	10.0	
	2. なし	117	73.1	28	21	14	8	15	4	27	84.8	77.8	73.7	50.0	55.6	50.0	90.0	
	3. 支部に属している	15	9.4	3	3	3	1	4	1	0	9.1	11.1	15.8	6.3	14.8	12.5	0.0	
	無回答	7		0	2	2	0	1	0	2								
	支部会数	1. 1か所	8	34.8	1	1	0	3	2	0	1	50.0	50.0	0.0	50.0	28.6	0.0	50.0
		2. 2か所	3	13.0	1	0	0	0	2	0	0	50.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0
		3. 3か所	3	13.0	0	0	0	1	2	0	0	0.0	0.0	0.0	16.7	28.6	0.0	0.0
		4. 4か所以上	9	39.1	0	1	2	2	1	2	1	0.0	50.0	100.0	33.3	14.3	100.0	50.0
		無回答	144		31	27	19	10	21	6	30							
	⑨年会費の有無	1. あり	131	79.4	26	27	21	15	26	6	10	81.3	93.1	100.0	93.8	92.9	75.0	32.3
2. なし		34	20.6	6	2	0	1	2	2	21	18.8	6.9	0.0	6.3	7.1	25.0	67.7	
無回答		2		1	0	0	0	0	0	1								
年会費額		1. 1,000円以下	16	12.9	5	3	3	0	3	0	2	19.2	12.0	15.8	0.0	12.5	0.0	22.2
		2. 2,000円以下	33	26.6	9	8	2	3	7	0	4	34.6	32.0	10.5	20.0	29.2	0.0	44.4
		3. 3,000円以下	33	26.6	7	6	5	7	4	2	2	26.9	24.0	26.3	46.7	16.7	33.3	22.2
		4. 4,000円以下	27	21.8	1	7	6	4	6	2	1	3.8	28.0	31.6	26.7	25.0	33.3	11.1
	5. 5,000円以下	9	7.3	2	1	1	1	3	1	0	7.7	4.0	5.3	6.7	12.5	16.7	0.0	
	6. 5,001円以上	6	4.8	2	0	2	0	1	1	0	7.7	0.0	10.5	0.0	4.2	16.7	0.0	
無回答・無効回答	43		7	4	2	1	4	2	23									
⑩顧問の有無	1. あり	90	55.9	14	19	13	7	16	6	15	43.8	65.5	65.0	43.8	61.5	75.0	50.0	
	2. なし	71	44.1	18	10	7	9	10	2	15	56.3	34.5	35.0	56.3	38.5	25.0	50.0	
	無回答	6		1	0	1	0	2	0	2								
⑪活動を支援する医療施設の有無	1. あり	91	58.7	20	17	10	7	13	5	19	62.5	63.0	50.0	50.0	52.0	62.5	65.5	
	2. なし	64	41.3	12	10	10	7	12	3	10	37.5	37.0	50.0	50.0	48.0	37.5	34.5	
	無回答	12		1	2	1	2	3	0	3								
⑫活動における医療従事者との関係性	1. 患者家族当事者が自律した活動をおこなっている	89	56.0	17	19	13	9	15	5	11	51.5	65.5	65.0	60.0	57.7	71.4	37.9	
	2. 医療従事者が側面的に活動を援助している	53	33.3	11	8	7	6	9	1	11	33.3	27.6	35.0	40.0	34.6	14.3	37.9	
	3. 医療従事者が全面的に活動運営を行っている	17	10.7	5	2	0	0	2	1	7	15.2	6.9	0.0	0.0	7.7	14.3	24.1	
	無回答	8		0	0	1	1	2	1	3								
2. 活動状況についておろかあります。当てはまるものに○をお付けください。																		
【問3】実際に取り組んでいる活動についてご記入ください。(複数回答可)	①活動目的	1. からだや心、生活上の問題の解決や軽減をはかる	132	79.0	26	24	19	12	24	5	22	78.8	82.8	90.5	75.0	85.7	62.5	68.8
		2. からだや心、生活上の問題とのつきあい方を学ぶ	115	68.9	25	19	16	10	22	5	18	75.8	65.5	76.2	62.5	78.6	62.5	56.3
		3. 安心できる場所を作る(居場所作り)	77	46.1	18	7	11	9	17	2	13	54.5	24.1	52.4	56.3	60.7	25.0	40.6
		4. 情報交換をする	148	88.6	29	28	19	14	26	7	25	87.9	96.6	90.5	87.5	92.9	87.5	78.1
		5. 社会に対して働きかけをす	101	60.5	18	19	16	9	20	6	13	54.5	65.5	76.2	56.3	71.4	75.0	40.6
		6. その他()	42	25.1	12	5	6	4	9	1	5	36.4	17.2	28.6	25.0	32.1	12.5	15.6
	②具体的な活動	1. 定例会、講演会の開催	150	89.8	30	27	21	14	26	7	25	90.9	93.1	100.0	87.5	92.9	87.5	78.1
		2. 語りの場の提供(茶話会)	113	67.7	24	18	16	10	19	3	23	72.7	62.1	76.2	62.5	67.9	37.5	71.9
		3. 相談事業(対面)	89	53.3	17	15	14	9	18	5	11	51.5	51.7	66.7	56.3	64.3	62.5	34.4
		4. 相談事業(電話、メール)	97	58.1	15	14	16	10	25	6	11	45.5	48.3	76.2	62.5	89.3	75.0	34.4
		5. 会員以外からの相談対応	95	56.9	16	17	15	11	21	5	10	48.5	58.6	71.4	68.8	75.0	62.5	31.3
		6. ホームページでの情報提供	83	49.7	10	12	12	8	19	8	14	30.3	41.4	57.1	50.0	67.9	100.0	43.8
		7. 会報、出版物の発行	109	65.3	16	22	19	11	23	8	10	48.5	75.9	90.5	68.8	82.1	100.0	31.3
8. 治療費や療養費の貸付・補	3	1.8	1	0	0	0	0	0	1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	3.1		
9. 治療や療養に必要な物品の貸出、提供(例:かつらの提供)	9	5.4	2	2	1	1	3	0	0	6.1	6.9	4.8	6.3	10.7	0.0	0.0		
10. 調査研究事業の実施	22	13.2	2	3	3	1	5	4	4	6.1	10.3	14.3	6.3	17.9	50.0	12.5		
11. 臨床研究事業への協力	16	9.6	2	3	1	2	3	4	1	6.1	10.3	4.8	12.5	10.7	50.0	3.1		
12. 行政が主催する会議への参加	89	53.3	18	18	16	10	12	5	10	54.5	62.1	76.2	62.5	42.9	62.5	31.3		
13. その他()	36	21.6	10	5	4	5	7	0	5	30.3	17.2	19.0	31.3	25.0	0.0	15.6		

患者会活動調査 集計表

作成日：2011年7月13日

設問	選択肢	会員数																
		全体		1~50人		51~100人		101~150人		151~200人		201~1000人		1001人以上		無回答		
		度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比	度数	構成比	
【問4】貴団体において、活用している医療情報はどのような情報源から得ていますか？(複数回答可)	0. 特になし	6	3.6	1	2	1	2	0	0	0	0	3.0	6.9	4.8	12.5	0.0	0.0	0.0
	1. 医学専門書籍・雑誌	57	34.1	9	8	8	6	10	4	12	27.3	27.6	38.1	37.5	35.7	50.0	37.5	
	2. 医学論文	22	13.2	1	3	4	2	3	2	7	3.0	10.3	19.0	12.5	10.7	25.0	21.9	
	3. 医療機関のホームページ	60	35.9	7	11	9	7	10	3	13	21.2	37.9	42.9	43.8	35.7	37.5	40.6	
	4. 国立がん研究センターがん対策情報センターのホームページ『がん情報サービス』	75	44.9	11	11	11	6	13	4	19	33.3	37.9	52.4	37.5	46.4	50.0	59.4	
	5. 一般向け書籍・雑誌・テレビ等のマスメディアの情報	55	32.9	11	5	8	6	9	3	13	33.3	17.2	38.1	37.5	32.1	37.5	40.6	
	6. 学会や講演会で提供される情報	107	64.1	20	20	13	11	22	6	15	60.6	69.0	61.9	68.8	78.6	75.0	46.9	
	7. 相談支援センター	25	15.0	4	6	3	2	3	0	7	12.1	20.7	14.3	12.5	10.7	0.0	21.9	
	8. 貴団体の顧問医	64	38.3	9	12	11	6	12	6	8	27.3	41.4	52.4	37.5	42.9	75.0	25.0	
	9. 会員の医療従事者	57	34.1	11	10	6	6	10	6	8	33.3	34.5	28.6	37.5	35.7	75.0	25.0	
	10. 非会員の医療従事者	43	25.7	6	9	8	4	8	2	6	18.2	31.0	38.1	25.0	28.6	25.0	18.8	
	11. 会員の患者・家族	63	37.7	13	13	10	5	11	3	8	39.4	44.8	47.6	31.3	39.3	37.5	25.0	
	12. その他()	25	15.0	10	3	0	1	4	3	4	30.3	10.3	0.0	6.3	14.3	37.5	12.5	
【問5】貴団体として、情報提供の際に留意していることはありますか？	1. はい → (具体的に)	105	75.5	20	17	13	12	17	7	19	66.7	70.8	76.5	92.3	77.3	87.5	76.0	
	2. いいえ	34	24.5	10	7	4	1	5	1	6	33.3	29.2	23.5	7.7	22.7	12.5	24.0	
	無回答	28		3	5	4	3	6	0	7								
3. 運営状況についておろがいがいします。	当てはまるものにお付けください。																	
【問6】団体規約・規定はありますか？	1. あり	140	85.4	25	27	20	16	25	8	19	78.1	93.1	95.2	100.0	89.3	100.0	63.3	
	2. なし	24	14.6	7	2	1	0	3	0	11	21.9	6.9	4.8	0.0	10.7	0.0	36.7	
	無回答	3		1	0	0	0	0	0	2								
【問7】組織形態について、当てはまるものにお付けください。	0. 法人格はない(任意団体)	94	58.0	20	16	9	7	16	1	25	64.5	57.1	42.9	43.8	57.1	12.5	83.3	
	1. 社団法人	28	17.3	2	6	7	4	5	3	1	6.5	21.4	33.3	25.0	17.9	37.5	3.3	
	2. 財団法人	5	3.1	3	0	0	0	0	1	1	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	3.3	
	3. 特定非営利活動法人(NPO法人)	27	16.7	3	5	4	4	7	2	2	9.7	17.9	19.0	25.0	25.0	25.0	6.7	
	4. その他()	8	4.9	3	1	1	1	0	1	1	9.7	3.6	4.8	6.3	0.0	12.5	3.3	
無回答	5		2	1	0	0	0	0	2									
【問8】運営費について、当てはまるものすべてにお付けください。(複数回答可)	1. 会費	137	82.0	27	27	21	15	26	8	13	81.8	93.1	100.0	93.8	92.9	100.0	40.6	
	2. 一般の方からの寄付	74	44.3	10	13	9	9	16	5	12	30.3	44.8	42.9	56.3	57.1	62.5	37.5	
	3. 企業からの寄付	45	26.9	9	7	4	3	9	5	8	27.3	24.1	19.0	18.8	32.1	62.5	25.0	
	4. 公的機関等からの補助金	62	37.1	12	13	12	8	10	2	5	36.4	44.8	57.1	50.0	35.7	25.0	15.6	
	5. イベントによる収入	23	13.8	2	5	3	3	5	2	3	6.1	17.2	14.3	18.8	17.9	25.0	9.4	
	6. 出版物による収入	9	5.4	0	1	0	0	4	2	2	0.0	3.4	0.0	0.0	14.3	25.0	6.3	
	7. その他()	36	21.6	6	6	3	3	7	2	9	18.2	20.7	14.3	18.8	25.0	25.0	28.1	
	無回答																	
※このページは、団体としてではなく、回答される方のご意見をお聞かせください。																		
4. 国立がん研究センターがん対策情報センターに関する情報についておろがいがいします。																		
【問9】あなたは、国立がん研究センターをご存知ですか？	1. 知っている	137	82.5	26	18	18	12	26	7	30	78.8	62.1	85.7	75.0	92.9	87.5	96.8	
	2. 聞いたことがある	21	12.7	5	6	3	4	2	0	1	15.2	20.7	14.3	25.0	7.1	0.0	3.2	
	3. 知らない	8	4.8	2	5	0	0	0	1	0	6.1	17.2	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	
	無回答	1		0	0	0	0	0	0	1								
【問10】あなたは、国立がん研究センターの「がん対策情報センター」をご存知ですか？	1. 知っている	116	69.9	16	14	16	11	23	7	29	48.5	48.3	76.2	68.8	82.1	87.5	93.5	
	2. 聞いたことがある	29	17.5	10	5	4	3	5	0	2	30.3	17.2	19.0	18.8	17.9	0.0	6.5	
	3. 知らない	21	12.7	7	10	1	2	0	1	0	21.2	34.5	4.8	12.5	0.0	12.5	0.0	
	無回答	1		0	0	0	0	0	0	1								
【問11】あなたは、がん対策情報センターのホームページ「がん情報サービス」(http://ganjoho.jp)をご存知ですか？	1. 知っている	113	68.5	18	14	15	10	21	7	28	54.5	48.3	71.4	62.5	77.8	87.5	90.3	
	2. 聞いたことがある	19	11.5	5	2	4	1	6	0	1	15.2	6.9	19.0	6.3	22.2	0.0	3.2	
	3. 知らない	33	20.0	10	13	2	5	0	1	2	30.3	44.8	9.5	31.3	0.0	12.5	6.5	
	無回答	2		0	0	0	0	1	0	1								
【問12】あなたは、「がん情報サービス」(http://ganjoho.jp)を利用したことはありますか？	1. はい	90	54.9	14	14	10	8	17	5	22	42.4	48.3	47.6	50.0	65.4	62.5	71.0	
	2. いいえ	74	45.1	19	15	11	8	9	3	9	57.6	51.7	52.4	50.0	34.6	37.5	29.0	
	無回答	3		0	0	0	0	2	0	1								
【問13】あなたは、国立がん研究センターが作成した本「患者必携がんになったり手にとるガイド」をご存知ですか？	1. はい → (問13-1へ)	101	60.8	17	14	13	10	20	3	24	51.5	48.3	61.9	62.5	71.4	37.5	77.4	
	2. いいえ	65	39.2	16	15	8	6	8	5	7	48.5	51.7	38.1	37.5	28.6	62.5	22.6	
	無回答	1		0	0	0	0	0	0	1								
【問13-1】どのくらいご存知ですか？	1. 聞いたことがある	10	9.9	4	2	0	0	2	0	2	23.5	14.3	0.0	0.0	10.0	0.0	8.3	
	2. 購入した	4	4.0	0	1	1	1	1	0	0	0.0	7.1	7.7	10.0	5.0	0.0	0.0	
	3. 閲覧した	72	71.3	11	9	10	8	13	2	19	64.7	64.3	76.9	80.0	65.0	66.7	79.2	
	4. 患者団体への見本版提供に応募した	15	14.9	2	2	2	1	4	1	3	11.8	14.3	15.4	10.0	20.0	33.3	12.5	
	医療機関の外來や病棟相談支援センター	20	12.0	2	5	3	2	4	0	4	6.1	17.2	14.3	12.5	14.3	0.0	12.5	
	保健所	15	9.0	2	5	3	1	0	1	3	6.1	17.2	14.3	6.3	0.0	12.5	9.4	
	がん情報サービスWebサイト	2	1.2	1	0	1	0	0	0	0	3.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
【問14】あなたは、患者団体への見本版提供を行っていることをご存知ですか？(同封の資料「患者必携見本版提供のご案内(募集中)」をご覧ください)	1. はい → (問14-1へ)	49	31.2	6	8	6	6	13	2	8	18.8	27.6	35.3	40.0	46.4	25.0	28.6	
	2. いいえ	108	68.8	26	21	11	9	15	6	20	81.3	72.4	64.7	60.0	53.6	75.0	71.4	
	無回答	10		1	0	4	1	0	0	4								
	※このページは、団体としてではなく、回答される方のご意見をお聞かせください。																	
	5. 地域の相談支援センターとの関わり方についておろがいがいします。																	
【問15】あなたは、「がん診療連携拠点病院」をご存知ですか？	1. はい	144	87.8	27	22	19	14	24	8	30	81.8	75.9	90.5	87.5	92.3	100.0	96.8	
	2. いいえ	20	12.2	6	7	2	2	2	0	1	18.2	24.1	9.5	12.5	7.7	0.0	3.2	
	無回答	3		0	0	0	0	2	0	1								
【問16】あなたやご家族が地域の「がん診療連携拠点病院」を利用したことはありますか？	1. はい	96	58.9	16	19	10	12	13	5	21	48.5	67.9	47.6	75.0	50.0	62.5	67.7	
	2. いいえ → (理由:)	67	41.1	17	9	11	4	13	3	10	51.5	32.1	52.4	25.0	50.0	37.5	32.3	
	無回答	4		0	1	0	0	2	0	1								

患者会活動調査 集計表

作成日：2011年7月13日

設 問	選 択 肢	全 体		会 員 数														
		度数	構成比	1~50	51~	101~	151~	201~	1001	無回答	1~50	51~	101~	151~	201~	1001	無回答	
				人	100人	150人	200人	1000人	以上		人	100人	150人	200人	1000人	以上		
【問17】周囲の人に、地域の「がん診療連携拠点病院」を紹介したことはありますか？	1. はい →(理由:)	95	59.7	11	17	21	12	18	6	18	37.9	60.7	61.9	75.0	66.7	75.0	60.0	
	2. いいえ →(理由:)	64	40.3	18	11	8	4	9	2	12	62.1	39.3	38.1	25.0	33.3	25.0	40.0	
	無回答	8		4	1	0	0	1	0	2								
【問18】がん診療連携拠点病院に設置されている「相談支援センター」をご存知ですか？	1. はい	131	81.4	21	19	18	14	23	8	28	70.0	67.9	85.7	87.5	85.2	100.0	90.3	
	2. いいえ	30	18.6	9	9	3	2	4	0	3	30.0	32.1	14.3	12.5	14.8	0.0	9.7	
	無回答	6		3	1	0	0	1	0	1								
【問19】あなたは、地域の「相談支援センター」を利用したことはありますか？	1. はい	56	34.6	10	9	5	8	10	1	13	31.3	32.1	23.8	50.0	37.0	12.5	43.3	
	2. いいえ →(理由:)	106	65.4	22	19	16	8	17	7	17	68.8	67.9	76.2	50.0	63.0	87.5	56.7	
	無回答	5		1	1	0	0	1	0	2								
【問19】2. いいえの理由(複数回答可)	0. 知らなかった	22	13.2	6	7	2	2	2	0	3	18.2	24.1	9.5	12.5	7.1	0.0	9.4	
	1. 利用の仕方がわかりにくい	10	6.0	2	1	2	0	1	1	3	6.1	3.4	9.5	0.0	3.6	12.5	9.4	
	2. 何を相談にのってもらえるのかわからない	17	10.2	3	2	4	1	2	1	4	9.1	6.9	19.0	6.3	7.1	12.5	12.5	
	3. 人目が気になる(知っている人に見られるのではないかと)	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	4. スタッフが忙しそうで相談しにくい	5	3.0	1	1	0	0	2	1	0	3.0	3.4	0.0	0.0	7.1	12.5	0.0	
	5. 相談にのりきれないか相談員の能力が心配	15	9.0	0	3	3	2	5	1	1	0.0	10.3	14.3	12.5	17.9	12.5	3.1	
	6. その他()	48	28.7	8	7	10	2	9	5	7	24.2	24.1	47.6	12.5	32.1	62.5	21.9	
※ここからは再び貴団体としてのご意見をお聞かせください。																		
【問20】貴団体として、地域の「相談支援センター」との間に何らかの交流はありますか？	1. しばしば交流がある →問21へ	37	23.3	1	8	6	4	8	3	7	3.4	28.6	28.6	25.0	29.6	37.5	23.3	
	2. たまに交流がある →問21へ	55	34.6	13	6	5	9	11	1	10	44.8	21.4	23.8	56.3	40.7	12.5	33.3	
	3. まったく交流がない →問23へ	67	42.1	15	14	10	3	8	4	13	51.7	50.0	47.6	18.8	29.6	50.0	43.3	
	無回答	8		4	1	0	0	1	0	2								
【問21】問20で1、2を選択された方になります。貴団体が、地域の相談支援センターに協力・支援していることについて、当てはまるものすべてに○をお付けください。(複数回答可)	1. 患者・家族の紹介	60	65.2	7	12	6	6	16	2	11	50.0	85.7	54.5	46.2	84.2	50.0	64.7	
	2. 院内の医療者向け勉強会・研修会に講師として参加する(体験談を語る等)	28	30.4	0	4	8	3	10	1	2	0.0	28.6	72.7	23.1	52.6	25.0	11.8	
	3. 相談支援センターの運営委員、評価委員などを引き受ける	8	8.7	0	1	1	0	4	2	0	0.0	7.1	9.1	0.0	21.1	50.0	0.0	
	4. がん当事者として、他のがん患者の相談に応じる	30	32.6	4	6	7	4	5	1	3	28.6	42.9	63.6	30.8	26.3	25.0	17.6	
	5. 模擬患者として研修に協力する	4	4.3	0	1	1	0	0	1	1	0.0	7.1	9.1	0.0	0.0	25.0	5.9	
	6. 病院スタッフとして病院運営を支援する	6	6.5	1	0	1	0	0	1	3	7.1	0.0	9.1	0.0	0.0	25.0	17.6	
	7. がん情報の整理および情報発信の手伝いをする(患者向けパンフレット作成の支援や院内図書整備支援など)	17	18.5	1	4	1	1	4	1	5	7.1	28.6	9.1	7.7	21.1	25.0	29.4	
	8. 都道府県の協議会などにアドバイザーや講師として参加する	20	21.7	1	4	4	1	6	1	3	7.1	28.6	36.4	7.7	31.6	25.0	17.6	
	9. その他()	32	34.8	3	5	4	6	6	2	6	21.4	35.7	36.4	46.2	31.6	50.0	35.3	
	10. とくにない	3	3.3	2	0	0	1	0	0	0	14.3	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	
	11. わからない	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
【問22】問20で1、2を選択された方になります。貴団体が、地域の相談支援センターから協力・支援を受けていることについて、当てはまるものすべてに○をお付けください。(複数回答可)	1. 勉強会・講演会への講師派遣または派遣の仲介	32	34.8	3	7	5	2	10	1	4	21.4	50.0	45.5	15.4	52.6	25.0	23.5	
	2. 患者会運営のアドバイス、企画などの支援	7	7.6	2	2	1	1	0	0	1	14.3	14.3	9.1	7.7	0.0	0.0	5.9	
	3. 定例会や講演会などの会場の提供	14	15.2	2	5	1	0	4	1	1	14.3	35.7	9.1	0.0	21.1	25.0	5.9	
	4. 経済的な援助	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	5. 広報や連絡などの事務的な支援	24	26.1	3	6	3	2	8	0	2	21.4	42.9	27.3	15.4	42.1	0.0	11.8	
	6. 患者同士で話ができる場(しゃべり場・サロンの設置)	23	25.0	5	4	5	1	5	0	3	35.7	28.6	45.5	7.7	26.3	0.0	17.6	
	7. とくにない	21	22.8	3	1	0	6	5	1	5	21.4	7.1	0.0	46.2	26.3	25.0	29.4	
8. わからない	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
9. その他()	13	14.1	2	1	1	2	2	2	3	14.3	7.1	9.1	15.4	10.5	50.0	17.6		
【問23】貴団体は、地域の相談支援センターとの関わりについてどの様にお考えですか？	1. 今後地域の相談支援センターとの交流を深めていきたい	68	44.4	11	12	8	8	15	4	10	40.7	46.2	38.1	53.3	57.7	50.0	33.3	
	2. 相談支援センターから要請があれば支援・協力するが、積極的な働きかけはしない	36	23.5	6	6	6	5	5	2	6	22.2	23.1	28.6	33.3	19.2	25.0	20.0	
	3. 地域の相談支援センターと交流する必要性を特に感じない	10	6.5	3	2	0	1	2	0	2	11.1	7.7	0.0	6.7	7.7	0.0	6.7	
	4. 地域の相談支援センターとどのように交流を持てばよいか分からない	15	9.8	2	2	1	0	2	1	7	7.4	7.7	4.8	0.0	7.7	12.5	23.3	
	5. その他()	24	15.7	5	4	6	1	2	1	5	18.5	15.4	28.6	6.7	7.7	12.5	16.7	
無回答	14		6	3	0	1	2	0	2									
6. ご回答いただいた情報の取り扱いについてお考えががります。																		
【問24】今後、相談支援センターにおいて、患者さんやご家族の相談対応の際に、ご回答いただいた情報を活用させていただきますことについて、お考えががりますか？	1. 相談支援センターにおいて情報を利用してよい	142	90.4	27	23	17	13	26	8	28	87.1	85.2	89.5	86.7	96.3	100.0	93.3	
	2. 相談支援センターにおいて情報を利用してほしくない	1	0.6	0	1	0	0	0	0	0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	3. その他()	14	8.9	4	3	2	2	1	0	2	12.9	11.1	10.5	13.3	3.7	0.0	6.7	
無回答	10		2	2	2	1	1	0	2									

(資料18)

平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 (がん臨床研究事業)
相談支援センターの機能の強化・充実と地域における
相談支援センターのあり方に関する研究
(研究代表者：高山 智子)

分担研究報告書

地域住民からみた相談支援センターのイメージと利用促進要因の検討

研究分担者 高山智子 国立がんセンター がん対策情報センター
がん情報・統計部 診療実態調査室 室長

研究要旨：

目的：地域住民における相談支援センターのイメージ（利用阻害理由）と利用阻害理由を高める要因の検討および今後の地域における周知や利用者促進のための足がかりとして、地域住民の医療や保健に関する活動の参加意向について検討を行った。

対象：国内全 4 地区の 20 歳以上の男女 9,181 名である。無記名自記式質問紙調査を実施し、回収が得られた 3,447 名について分析を行った。

結果：相談支援センターを「知っている」と回答したものは 402 名（11.7%）であった。相談支援センターのイメージ（利用阻害理由）として多かったのは、「利用の仕方がわかりにくい（79.2%）」、「心配や不安なことがあっても何を相談にのってもらえばいいかわからない（66.3%）」であり、相談支援センターの利用阻害理由の得点の高さには、相談支援センターの認知状況の違いが寄与していることが示された。一方で、利用阻害理由によっては、相談支援センターの認知状況に関わらず、学歴や経済状態、拠点病院までの時間が関連していた。地域住民の医療や保健活動の参加意向では、約 2 割の人がボランティア活動などに関心を示していた。

考察および結論：相談支援センターの利用を促進するためには、利用の仕方の周知の重要性が確認された。一方で、相談支援センターの周知のみでは解決することが難しい、相談することそのものに対する抵抗が存在する可能性も示され、その地域にあった相談支援センターの利用促進のためのあり方を探っていく必要性が示された。医療や保健活動に関心を持つ地域住民層への協力を仰ぐことも、今後、地域での相談支援センターのあり方や周知を促すためには重要であると考えられた。

A. 研究目的

がん対策基本計画が2007年に施行され、全国375カ所(2010年3月時点)のがん診療連携拠点病院(以下、拠点病院とする)に置かれた相談支援センターを中心に、地域におけるがんの情報提供および相談体制の整備が進められている。相談支援センターが真に地域のがん情報の提供拠点として、また相談対応の拠点としての役割を担っていくためには、必要なときにいつでも利用できる存在として、地域において周知が進み、利用者が増えていくことが望ましい。しかしながら、相談支援センターの認知度や利用者は、基本計画施行後3年が経過している現時点において伸び悩んでいる状況であり、今後のさらなる利用促進に向けた働きかけを行うにあたって、その要因を検討することが必要である。そこで本研究では、地域住民における相談支援センターのイメージ(利用阻害理由)と利用阻害理由を高める要因について検討を行い、さらに今後の地域における周知や利用者促進のための足がかりとして、地域住民の医療や保健に関する活動の参加意向について検討を行った。

B. 研究方法

地域における一般市民として、広島県呉市と栃木県宇都宮市および塩谷町に居住する20歳以上の男女を対象に、「健康とがんに関する情報ニーズ調査」の住民調査を実施した。対象となった9,181人のうち、回

収が得られた3,447人(回収率37.5%)について分析を行った。

1) 調査地域

本研究では、一般市民を取り巻く環境要因の一つとして、拠点病院からの距離により、それぞれの地域で近距離と遠距離となる広島県呉市の2地区(宮原地区、蒲刈・下蒲刈地区)と栃木県宇都宮市の1地区(陽南地区)、そして栃木県塩谷町の1地区(船生地区)の計4地区を対象地域として調査を実施した。呉市宮原地区は呉医療センター(拠点病院)から至近距離にある地区であり、同様に宇都宮市陽南地区は栃木県立がんセンター(拠点病院)から近い場所に位置する。一方、呉市蒲刈・下蒲刈は、瀬戸内海の2島の地区であり呉医療センターのある呉市街地へは有料の橋を渡っていく必要がある地区である。塩谷町船生地区は、無医村地域であり、宇都宮市街地までは自動車ですら1時間程度離れて位置する。

2) 調査対象と調査票配布・回収方法

2010年2月中旬から3月中旬にかけて、20歳以上の男女を対象とした、無記名自記式質問紙調査を実施した。4地区で合計9,181通の調査票を配布した。調査票の配布・回収方法については、地区毎の協力体制により異なる方法となったが、自由意思で回答し、かつ、回収率が高くなるように配慮した。呉市では全体で5,000名を、2地域からそれぞれ約40%の住民を、住民基本台帳をもとに無作為に抽出し、郵送にて調査票を配布、回収した。栃木県の2地区

は自治会の区長会の協力を得て配布を行った。宇都宮市陽南地区では、2,000名（世帯）に配布するように、自治会内の全18区がそれぞれの区の世帯数によって配布数の割り付けを行い、区長が自身の区内の世帯の中から調査票を配布する対象世帯を選択し対面で配布した。回収は回答者から直接郵送で行った。塩谷町船生地区は、地区内の全2,181世帯を対象に、自治会の19名の区長が自身の区内の全世帯に配布と回収を対面で行った。なお呉市と塩谷町での調査は、それぞれ呉市福祉保健課と塩谷町健康増進課の協力を得て実施した。

3) 調査項目および分析方法

調査は、「健康とがんに関する情報のニーズ調査」として実施した。相談支援センターの認知度については、「1. 知っている、2. 聞いたことがある、3. 知らない」の3段階でたずねた。また相談支援センターのイメージ/利用阻害理由については、1) 利用の仕方がわかりにくい、2) 心配や不安なことであっても何を相談にのってもらえばいいかわからない、3) 他人に相談すること自体に抵抗がある、4) 人目が気になる（知っている人に見られるのではないかと心配）、5) スタッフが忙しそうで相談しにくい、6) 医師のことなど相談するとばれてしまうのではないかと心配、7) 相談に対して的確に答えてくれないのではないかと相談員の能力が心配、8) その他、の合計8項目について、それぞれ「1. そう思う、2. まあそう思う、3. あまりそう思わない、4.

思わない」の4段階でたずねた。

地域住民の医療や保健に関する活動については、「今後参加したい、取り組んでみたいと思うもの」として、1) 病院など医療機関が主催する講演会・勉強会など、2) 病院ボランティア、3) 患者向けパンフレット作成や院内図書整備の支援など、4) 相談支援センターアドバイザー、5) 病院サービス改善のためのアドバイザー、6) 模擬患者（患者役を演じること）として、医療関係者の研修会等への協力、7) その他、8) とくにない、の8項目について、複数回答にてたずねた。

4) 分析方法

相談支援センターのイメージ/利用阻害理由について、「1=思わない、2=あまりそう思わない、3=まあそう思う、4=そう思う」として得点化し、その他を除く7項目について因子分析を行い利用阻害理由の分類を行った。その結果、3因子が抽出され、それぞれ「相談支援センター周知と相談する側の力量不足(1, 2)」「相談におけるやり取りへの懸念(相談文化や匿名性)(3, 4)」「相談員や体制への懸念(5, 6, 7)」と名付けられた。それぞれの α 係数は、7項目全体($\alpha=0.78$)、「相談支援センター周知と相談する側の力量不足($\alpha=0.72$)」「相談におけるやり取りへの懸念(相談文化や匿名性)($\alpha=0.78$)」「相談員や体制への懸念($\alpha=0.74$)」であった。

関連要因の検討の際の説明変数には、個人属性として、性別、年代、学歴、社会属